

令和6年度 介護労働懇談会の開催 神奈川支部 会議名: 第2回神奈川県介護人材確保対策推進会議

開催日時: 3月6日(木曜日) 14:00 ~ 11:30

テーマ・議題

- ①神奈川県での介護従事者の地位向上
- ②人材充足に係る取り組み
- ③介護人材確保対策推進会議上から見てきた事

主な参加機関

神奈川県、神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協会、神奈川県介護福祉士会、日本在宅介護協会、横浜市福祉事業経営者会他



討議内容

- ・かながわの介護現場で働く方を充足するために、多方面からの意見を取り組んでいくにか？
 - ①各自治体が、それぞれ取り組んでいる企画・事業を集約して成果を評価する事も出来ないか？
 - ②介護職の不足しているが、実際には経営者や管理者も同様であり育成は急務である。安定経営に至らない。
 - ③中小零細の訪問事業所が経営的に厳しく、閉鎖となった事業所が多くみられる。事業が継続できる支援を神奈川県にも取り組んでいただきたい。
- ・介護業界への従事者を増やす取り組みとして、介護の仕事の魅力や地位向上を情報として発信するには？
 - ①新卒者(高校生・中学生等)へ外語業界に係る状態が作れないか？介護学科ある高校の状況聞き取り。
 - ②「かたりべ」として訪問介護の職員の発言(3名分)をHPにリリースする。
 - ③SNSとしての活用(instagram)も行い、ひとりでも多くの人に見てもらえる(海外からも)環境の整備。
- ・介護事業所のレベルUPを図るために
 - ①管理者となる方をもっと育てる事が必要。
 - ②県下の事業所が、より高いレベルで利用者からの評価を頂く事で、かながわの介護事業所の底上げとしたい。

参加団体からのお知らせ・状況報告等

- ・かながわ福祉大学校を、関東学院のキャンパスをお借りして立ち上げた。
- ・介護従事者がしっかり利用者と寄り添えるようなスキルに繋がる研修を行ってほしい。
- ・在宅介護協会では、ケアプランの使用料が1年間無償となる事から、導入を推奨していきたい。

事務局からのコメント

- ・たくさんのご意見やご提案を頂いた中で、今後の取り組みに活用できるように進めていきたい。